

山田みやこの活動報告

平成30年8月25日(土)

子ども虐待防止ネットワークとちぎ主催

子どもの虐待をなくそう！県民のつどいに参加

「子どもの貧困・虐待の連鎖を断つ」
～子どもの居場所、子ども食堂、学習支援の現場から～

シンポジスト

- ・行政 宇都宮市子ども家庭支援室 増山 孝之氏
- ・子どもの居場所 月の家 星 美帆氏
- ・やまのて子ども食堂 木村 京児氏
- ・無料学習支援室 中野 謙作氏

コーディネーター

- ・養徳園施設長 福田 雅章氏

各現場からの報告

- ・月の家
子ども一人につき週2回利用
放課後～19時30分(通常)
10時～16時30分(長期休み)
利用する児童は昼夜逆転、規則正しい食事がとれていない、学校を休みがち、学習の遅れがある。保護者との信頼関係を築くことの難しさがあるが、運動会や授業参観に月の家スタッフと一緒に保護者も参加するという試みもしている。ささいな日常生活の大切さなどの積み重ねが必要。

- ・やまのて子ども食堂
一日一食のこども
フードバンクで食料支援
やまのて学習ルーム 金曜15時～20時開催
子ども達を取り巻く問題の大きさに直面する
地域の力で子ども達の笑顔が見られる様に関わっていく

子どもの虐待をなくそう！県民のつどい
プレ勉強会
平成30年8月25日(土) 14時～16時半
子どもの貧困・虐待の連鎖を断つ
～子どもの居場所、子ども食堂、学習支援の現場から～

「子どもの居場所」と「子ども食堂」…
二つの違いって何？

学習支援って、どんなことするの？
自分にできることは？

シンポジウム

コーディネーター 福田雅章（養徳園総合施設長）
シンポジスト 行政：増山孝之（宇都宮市子ども家庭課子ども家庭支援室）
子どもの居場所：星美帆（月の家）
子ども食堂：木村京児（やまのてこども食堂）
学習支援：中野謙作（無料学習支援教室・昭和子ども食堂）
活動報告 子ども虐待防止ネットワークとちぎ
子ども SUNSUN プロジェクト

会場 とちぎ青少年センター 多目的ホール 入場無料（申込不要）
主催 子ども虐待防止ネットワークとちぎ
子ども SUNSUN プロジェクト
特定認定非営利活動法人青少年の自立を支える会
（栃木県委託「子どもの居場所担い手育成事業」）
問い合わせ 自立援助ホーム星の家 TEL:028-666-6023

・無料学習支援教室

親が生活保護の場合、本人の生活保護受給率9.8%。離婚・DV経験者も貧困率が高い。

貧困の負のスパイラルを止める効果な支援の一つは学習支援である。

ゴールデンエイジの中3。高校進学への学習支援と、高校中退者への学習支援で高卒資格を得ることが重要。学習支援と子ども食堂の役割は学ぶ、食べるはSOSの入口。支援につながる一番の近道。相談できる身近な大人がいることで本人に安心をつくる。個々の可能性を広げ、社会生活に適応できるようにする。

・行政

親の責任が問われるが子育てを普遍化していく社会をめざす。

子どもの健全育成は社会の責任。

親を孤立させず地域で関わる。

宇都宮市では子どもの貧困実態調査を行う。

子ども虐待防止ネットワークとちぎは、2010年に設立。支援に携わる人は専門家ではなくて普通の人で良い。地域社会で育てる。それぞれ子どもがどう人生を送るか、他人事でなく自分事として動くか。子どもの現状を知る人だけの支援は限界がある。まだ知らない人にいかに理解してもらい、支援の輪に巻き込むか行動していきたい。